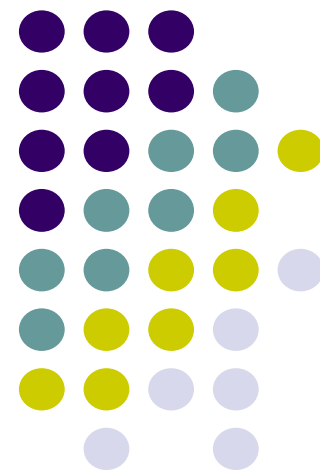


平成21年度 県内市町村 普通会計当初予算の概要

〈四万十市は骨格予算、津野町は肉付け予算後で計上〉

平成21年6月
高知県総務部市町村振興課



1. 平成21年度市町村当初予算(普通会計)の概要と特徴

(1) 予算規模

・県内市町村の平成21年度普通会計当初予算は、3,611億5千6百万円と、前年度当初予算と比較して0.7%(25億8千2百万円)の減となっている。

・前年度当初予算より増加した団体は19団体、減少した団体は15団体で、そのうち対前年度増加率が10%を超える団体が3団体、対前年度減少率が10%を超える団体が4団体となっている。

(2) 歳入・歳出の特徴

① 地方交付税等

・地方交付税と臨時財政対策債を合わせた実質的な地方交付税総額は前年度比5.4%の増となっている。

これは、本年度から創設された地域雇用創出推進費(総務省試算額:35億4千5百万円)等を見込んだためである。

・地方税は前年度比3.5%の減となったが、一般財源総額(地方税+地方譲与税+地方消費税交付金等+地方特例交付金等+地方交付税+臨時財政対策債)は前年度比1.0%の増となっている。

② 公債費

・平成19年度、20年度に実施した普通会計における補償金免除繰上償還(115億6千万円)の効果等により、前年度比2.6%(18億5千万円)の減となっている。

公債費の推移(当初予算ベース)

H18:72,664百万円→H19:71,717百万円→H20:71,257百万円
→H21:69,407百万円
3年連続で減少している。

③ 普通建設事業

・普通建設事業は439億4千5百万円で、前年度比7.9%(37億4千8百万円)の減となったが、国の交付金事業を含んだ平成20年度の3月補正額を加えると501億6千7百万円(対⑳+⑲3月補正の6.9%増)となっている。

(3) 財源不足額

・一般財源総額の確保や地域活性化・生活対策臨時交付金の基金の活用などにより財源が確保された。加えて、公債費が減少したことなどにより、財源不足額は前年度比19.7%(18.1億円)の減となっている。

※平成21年度当初財源不足額 73.8億円

(㉑91.9億円 / ▲18.1億円、▲19.7%)

<財源不足額への対応>

財政調整基金取崩 29.3億円(㉑39.8億円 / ▲10.5億円、▲26.4%)
減債基金取崩 28.9億円(㉑44.0億円 / ▲15.1億円、▲34.3%)
退職手当債 15.6億円(㉑8.1億円 / +7.5億円、+92.6%)

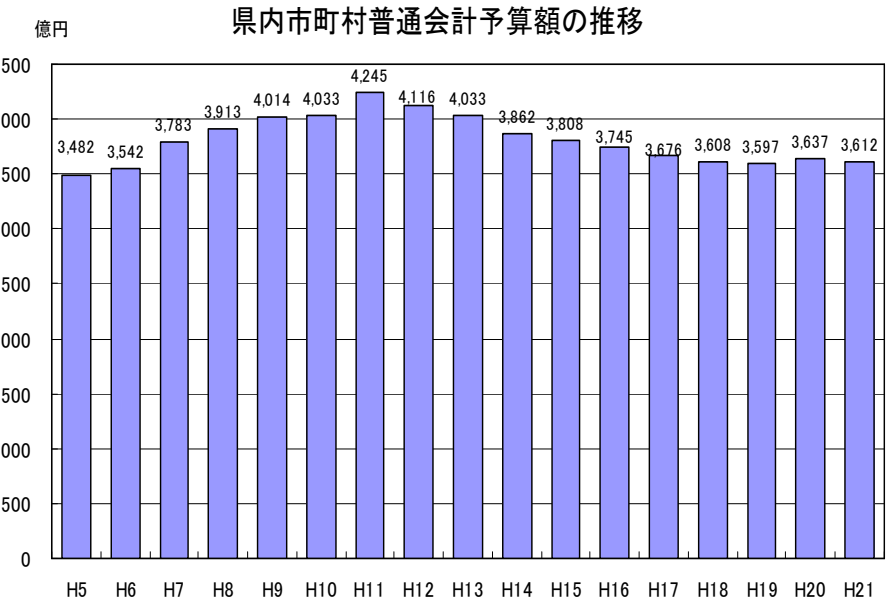
2. 予算の規模－①

- 平成21年度県内市町村の普通会計当初予算の規模は3,611億5千6百万円と前年度当初予算と比較して0.7%(25億8千2百万円)の減となっている。
- 予算額が前年度に比べて増加したのは19団体(最大増加率／大川村51.8%)、減少したのは15団体(最大減少率／大月町19.7%)となっている。
- 本年度から地域雇用創出推進費が創設されたため、実質的な地方交付税総額が前年度比5.4%(71億1千8百万円)の増となっている。
- 地方税は前年度比3.5%(30億8千万円)の減となったが、一般財源総額は前年度比1.0%(23億9千7百万円)の増となっている。

(単位 百万円、%)

区 分	平成21年度 当初予算額	平成20年度 当初予算額	比較	
			増減額	伸率
歳入	361,156	363,738	▲2,582	▲0.7
うち市町村税①	84,781	87,861	▲3,080	▲3.5
うち地方譲与税②	3,546	3,742	▲196	▲5.2
うち地方消費税交付金等③	8,576	10,041	▲1,465	▲14.6
うち地方特例交付金等④	862	842	20	2.4
うち地方交付税⑤	126,001	123,336	2,665	2.2
うち国庫支出金	41,621	41,706	▲85	▲0.2
うち県支出金	23,782	21,758	2,024	9.3
うち基金繰入金	10,621	12,978	▲2,357	▲18.2
うち財政調整基金取崩	2,929	3,977	▲1,048	▲26.4
うち減債基金取崩額	2,891	4,397	▲1,506	▲34.3
うち地方債	36,568	35,342	1,226	3.5
うち臨時財政対策債⑥	13,352	8,899	4,453	50.0
歳出	361,156	363,738	▲2,582	▲0.7
うち人件費	69,210	68,753	457	0.7
うち扶助費	63,008	60,775	2,233	3.7
うち公債費	69,407	71,257	▲1,850	▲2.6
うち普通建設事業費	43,945	47,693	▲3,748	▲7.9
うち補助事業費	17,742	19,527	▲1,785	▲9.1
うち単独事業費	26,005	27,931	▲1,926	▲6.9
うち災害復旧事業費	1,540	1,939	▲399	▲20.6
市 計	261,291	261,896	▲605	▲0.2
町 村 計	99,865	101,842	▲1,977	▲1.9
一般財源総額(①+②+③+④+⑤+⑥)	237,118	234,721	2,397	1.0
実質的な地方交付税総額(⑤+⑥)	139,353	132,235	7,118	5.4

地方財政 計画伸率	▲1.0
▲10.6	
108.0	
※1	▲2.4
	2.7
	2.2
	23.2
	81.7
※2	▲1.4
	▲0.6
※3	▲5.1
※3	▲7.9
※3	▲3.1
※4	9.1
※5	▲1.3
	15.0



※1 地方消費税交付金等は、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、自動車取得税交付金及び軽油引取税交付金の合計

※2 人件費の地方財政計画伸率は、「給与関係経費」のうち、「一般職員及び義務制以外の教員並びに特別職等」の伸率。

※3 普通建設事業費は、投資的経費の伸率を使用。補助・単独の伸率は災害復旧事業費を除く伸率。

※4 災害復旧事業費は補助・単独の合計の伸率。

※5 一般財源総額は地方財政計画と比較するために用いた尺度

2. 予算の規模－② <市町村別予算規模と主な増減の内訳>

(単位:百万円、%)

	平成21年度 当初予算	平成20年度 当初予算	対前年度 増減額	対前年度 増減率
	a	b	a-b	(a-b)/b
高知市	129,421	130,651	▲1,230	▲0.9
室戸市	10,719	9,825	894	9.1
安芸市	10,225	10,009	216	2.2
南国市	17,200	17,902	▲702	▲3.9
土佐市	11,459	11,168	291	2.6
須崎市	11,694	11,914	▲220	▲1.8
宿毛市	9,987	9,228	759	8.2
土佐清水市	9,186	9,128	58	0.6
四万十市	20,629	18,917	1,712	9.1
香南市	16,674	18,044	▲1,370	▲7.6
香美市	14,097	15,110	▲1,013	▲6.7
東洋町	2,236	2,105	131	6.2
奈半利町	2,494	2,655	▲161	▲6.1
田野町	1,991	1,926	65	3.4
安田町	2,536	2,436	100	4.1
北川村	1,841	1,644	197	12.0
馬路村	1,937	1,598	339	21.2
芸西村	2,359	2,689	▲330	▲12.3
本山町	3,192	3,007	185	6.2
大豊町	3,821	3,897	▲76	▲2.0
土佐町	3,624	3,689	▲65	▲1.8
大川村	1,275	840	435	51.8
いの町	11,775	12,458	▲683	▲5.5
仁淀川町	6,593	6,638	▲45	▲0.7
中土佐町	5,322	5,100	222	4.4
佐川町	6,263	6,993	▲730	▲10.4
越知町	3,671	3,468	203	5.9
檜原町	3,985	3,843	142	3.7
日高村	3,004	2,876	128	4.5
津野町	5,257	5,052	205	4.1
四万十町	13,409	15,179	▲1,770	▲11.7
大月町	3,415	4,251	▲836	▲19.7
三原村	1,688	1,810	▲122	▲6.7
黒潮町	8,177	7,688	489	6.4
市計	261,291	261,896	▲605	▲0.2
町村計	99,865	101,842	▲1,977	▲1.9
県計	361,156	363,738	▲2,582	▲0.7

団体数合計

		前年度比増減	H21年度当初	H20年度当初	増減
増	5%未満		9	10	▲1
	5%以上10%未満		7	6	1
	10%以上		3	4	▲1
	小計		19	20	▲1
減	5%未満		6	11	▲5
	5%以上10%未満		5	2	3
	10%以上		4	1	3
	小計		15	14	1
合計			34	34	0

対前年度増減率10%超団体の主な要因

市町村名	当初予算額		増減額	増減率
	H21年度	H20年度		
北川村	1,841	1,644	197	12.0
①歳入	農山漁村活性化プロジェクト交付金 152百万円増、ふるさと雇用再生特別基金事業補助金 68百万円増、過疎対策事業債(農山漁村活性化プロジェクト等) 61百万円増			
②歳出	農山漁村活性化プロジェクト交付金事業 229百万円増、ふるさと雇用再生特別基金事業 68百万円増、中芸広域連合負担金(保健福祉) 26百万円増			

市町村名	当初予算額		増減額	増減率
	H21年度	H20年度		
馬路村	1,937	1,598	339	21.2
①歳入	国庫支出金(農山村活性化プロジェクト事業等) 128百万円増、過疎債(ヘリポート整備事業、診療所医師住宅建築事業等) 104百万円増			
②歳出	中芸広域連合負担金(保健福祉) 21百万円増、普通建設事業(馬路体育館補強改修事業、診療所医師住宅建築事業、ヘリポート整備事業等) 294百万円増			

市町村名	当初予算額		増減額	増減率
	H21年度	H20年度		
大川村	1,275	840	435	51.8
①歳入	情報基盤整備事業補助金 104百万円増、過疎債(情報基盤整備事業等) 261百万円増			
②歳出	情報基盤整備事業 433百万円増			

対前年度増減率▲10%超団体の主な要因

市町村名	当初予算額		増減額	増減率
	H21年度	H20年度		
芸西村	2,359	2,689	▲330	▲12.3
①歳入	基金繰入金 113百万円減、防災対策事業債(防災無線整備) 130百万円減			
②歳出	防災無線整備 157百万円減			

市町村名	当初予算額		増減額	増減率
	H21年度	H20年度		
佐川町	6,263	6,993	▲730	▲10.4
①歳入	中学校建設事業補助金 136百万円減、特定目的基金繰入金 373百万円減、学校教育施設等整備事業債 423百万円減、辺地債(公園整備等) 107百万円減			
②歳出	佐川中学校建設事業 822百万円減、霧生閣公園造成工事 96百万円減			

市町村名	当初予算額		増減額	増減率
	H21年度	H20年度		
四万十町	13,409	15,179	▲1,770	▲11.7
①歳入	国庫支出金(情報通信基盤整備、給食センター建設等) 636百万円減、過疎債(ケーブルシステム整備等) 1,391百万円減			
②歳出	ケーブルシステム整備事業 2,215百万円減、給食センター建設事業 737百万円減			

市町村名	当初予算額		増減額	増減率
	H21年度	H20年度		
大月町	3,415	4,251	▲836	▲19.7
①歳入	統合小学校建設事業補助金 329百万円減、過疎債(統合小学校建設事業等) 529百万円減			
②歳出	統合小学校建設事業 960百万円減			

歳入予算

平成21年度普通会計当初予算

歳入（普通会計）

単位：百万円

	地方税			地方交付税						繰入金			地方債						その他						合計											
	H20当初	H21当初	増減率	H20当初	H21当初	増減率	うち普通交付税			うち特別交付税			H20当初	H21当初	増減率	臨時財政対策債			行政改革等推進債			退職手当債			その他			H20当初	H21当初	増減率	H20当初	H21当初	増減率			
							H20当初	H21当初	増減率	H20当初	H21当初	増減率				H20当初	H21当初	増減率	H20当初	H21当初	増減率	H20当初	H21当初	増減率	H20当初	H21当初	増減率							H20当初	H21当初	増減率
高知市	47,300	45,600	▲3.6	27,400	28,600	4.4	25,700	26,900	4.7	1,700	1,700	0.0	1,839	2,036	10.7	9,620	10,343	7.5	2,560	3,979	55.4	0	0	—	691	1,129	63.4	6,369	5,235	▲17.8	44,492	42,842	▲3.7	130,651	129,421	▲0.9
室戸市	1,302	1,238	▲4.9	4,300	4,500	4.7	3,650	3,800	4.1	650	700	7.7	349	421	20.6	563	979	73.9	200	311	55.5	0	0	—	80	150	87.5	283	518	83.0	3,311	3,581	8.2	9,825	10,719	9.1
安芸市	1,928	1,889	▲2.0	4,488	4,545	1.3	3,953	4,010	1.4	535	535	0.0	57	74	29.8	612	713	16.5	220	342	55.5	9	0	皆減	0	0	—	383	371	▲3.1	2,924	3,004	2.7	10,009	10,225	2.2
南国市	6,457	6,243	▲3.3	4,300	4,300	0.0	3,800	3,800	0.0	500	500	0.0	539	75	▲86.1	947	941	▲0.6	410	636	55.1	0	0	—	0	0	—	537	305	▲43.2	5,659	5,641	▲0.3	17,902	17,200	▲3.9
土佐市	2,510	2,432	▲3.1	3,500	3,500	0.0	3,100	3,100	0.0	400	400	0.0	900	1,112	23.6	954	1,213	27.1	244	365	49.6	0	0	—	0	0	—	710	848	19.4	3,304	3,202	▲3.1	11,168	11,459	2.6
須崎市	2,917	2,784	▲4.6	4,316	4,460	3.3	3,726	3,870	3.9	590	590	0.0	202	90	▲55.4	880	987	12.2	237	368	55.3	0	0	—	38	172	352.6	605	447	▲26.1	3,599	3,373	▲6.3	11,914	11,694	▲1.8
宿毛市	2,371	2,204	▲7.0	3,804	3,900	2.5	3,304	3,400	2.9	500	500	0.0	106	171	61.3	685	1,156	68.8	239	372	55.6	0	0	—	0	0	—	446	784	75.8	2,262	2,556	13.0	9,228	9,987	8.2
土佐清水市	1,330	1,272	▲4.4	4,084	4,145	1.5	3,484	3,545	1.8	600	600	0.0	2	0	皆減	760	797	4.9	200	310	55.0	35	0	皆減	0	112	皆増	525	375	▲28.6	2,952	2,972	0.7	9,128	9,186	0.6
四万十市	3,696	3,598	▲2.7	7,158	7,350	2.7	6,330	6,531	3.2	828	819	▲1.1	498	554	11.2	2,817	3,986	41.5	410	636	55.1	0	0	—	0	0	—	2,407	3,350	39.2	4,748	5,141	8.3	18,917	20,629	9.1
香南市	3,057	2,947	▲3.6	6,820	7,100	4.1	6,100	6,400	4.9	720	700	▲2.8	1,758	1,389	▲21.0	2,437	1,550	▲36.4	505	792	56.8	0	0	—	0	0	—	1,932	758	▲60.8	3,972	3,688	▲7.2	18,044	16,674	▲7.6
香美市	2,439	2,347	▲3.8	6,060	6,150	1.5	5,520	5,700	3.3	540	450	▲16.7	621	55	▲91.1	2,197	1,785	▲18.8	482	651	35.1	0	0	—	0	0	—	1,715	1,134	▲33.9	3,793	3,760	▲0.9	15,110	14,097	▲6.7
東洋町	179	173	▲3.4	1,215	1,262	3.9	1,105	1,162	5.2	110	100	▲9.1	265	265	0.0	100	156	56.0	80	126	57.5	0	0	—	0	0	—	20	30	50.0	346	380	9.8	2,105	2,236	6.2
奈半利町	279	261	▲6.5	1,370	1,416	3.4	1,270	1,300	2.4	100	116	16.0	257	174	▲32.3	259	200	▲22.8	80	124	55.0	0	0	—	0	0	—	179	76	▲57.5	490	443	▲9.6	2,655	2,494	▲6.1
田野町	268	271	1.1	1,062	1,062	0.0	962	962	0.0	100	100	0.0	99	59	▲40.4	205	288	40.5	70	109	55.7	0	0	—	0	0	—	135	179	32.6	292	311	6.5	1,926	1,991	3.4
安田町	221	212	▲4.1	1,200	1,250	4.2	1,150	1,200	4.3	50	50	0.0	294	447	52.0	169	203	20.1	77	119	54.5	0	0	—	0	0	—	92	84	▲8.7	552	424	▲23.2	2,436	2,536	4.1
北川村	200	185	▲7.5	886	903	1.9	800	785	▲1.9	86	118	37.2	55	43	▲21.8	110	150	36.4	61	40	▲34.4	0	0	—	0	0	—	49	110	124.5	393	560	42.5	1,644	1,841	12.0
馬路村	150	142	▲5.3	700	760	8.6	640	700	9.4	60	60	0.0	262	171	▲34.7	101	300	197.0	60	86	43.3	0	0	—	0	0	—	41	214	422.0	385	564	46.5	1,598	1,937	21.2
芸西村	347	339	▲2.3	1,070	1,094	2.2	950	974	2.5	120	120	0.0	302	189	▲37.4	399	166	▲58.4	87	136	56.3	0	0	—	0	0	—	312	30	▲90.4	571	571	0.0	2,689	2,359	▲12.3
本山町	310	300	▲3.2	1,660	1,618	▲2.5	1,580	1,518	▲3.9	80	100	25.0	84	106	26.2	471	512	8.7	100	157	57.0	0	0	—	0	0	—	371	355	▲4.3	482	656	36.1	3,007	3,192	6.2
大豊町	385	363	▲5.7	1,802	2,030	12.7	1,754	1,925	9.7	48	105	118.8	490	313	▲36.1	269	252	▲6.3	139	118	▲15.1	0	0	—	0	0	—	130	134	3.1	951	863	▲9.3	3,897	3,821	▲2.0
土佐町	508	484	▲4.7	1,463	1,520	3.9	1,373	1,430	4.2	90	90	0.0	363	335	▲7.7	484	378	▲21.9	100	150	50.0	0	0	—	0	0	—	384	228	▲40.6	171	907	4.1	3,689	3,624	▲1.8
大川村	63	62	▲1.6	553	553	0.0	440	453	3.0	113	100	▲11.5	0	42	皆増	86	368	327.9	39	60	53.8	0	0	—	0	0	—	47	308	555.3	838	250	81.2	840	1,275	51.8
いの町	2,813	2,778	▲1.2	4,500	4,466	▲0.8	4,050	4,016	▲0.8	450	450	0.0	991	505	▲49.0	1,412	1,220	▲13.6	395	574	45.3	0	0	—	0	0	—	1,017	646	▲36.5	2,742	2,806	2.3	12,458	11,775	▲5.5
仁淀川町	562	546	▲2.8	3,200	3,300	3.1	3,000	3,050	1.7	200	250	25.0	336	309	▲8.0	763	814	6.7	206	320	55.3	0	0	—	0	0	—	557	494	▲11.3	1,777	1,624	▲8.6	6,638	6,593	▲0.7
中土佐町	543	520	▲4.2	2,866	2,776	▲3.1	2,560	2,630	2.7	306	146	▲52.3	235	49	▲79.1	441	766	73.7	175	272	55.4	0	0	—	0	0	—	266	494	85.7	1,015	1,211	19.3	5,100	5,322	4.4
佐川町	1,140	1,181	3.6	2,350	2,370	0.9	2,250	2,270	0.9	100	100	0.0	721	331	▲54.1	1,105	579	▲47.6	257	263	2.3	0	0	—	0	0	—	848	316	▲62.7	1,677	1,802	7.5	6,993	6,263	▲10.4
越知町	458	455	▲0.7	2,059	1,968	▲4.4	1,925	1,835	▲4.7	134	133	▲0.7	42	102	142.9	314	530	68.8	117	187	59.8	0	0	—	0	0	—	197	343	74.1	995	616	3.5	3,468	3,671	5.9
橋原町	312	286	▲8.3	2,160	2,210	2.3	2,060	2,110	2.4	100	100	0.0	128	42	▲67.2	262	374	42.7	120	174	45.0	0	0	—	0	0	—	142	200	40.8	981	1,073	9.4	3,843	3,985	3.7
日高村	489	454	▲7.2	1,364	1,421	4.2	1,172	1,241	5.9	192	180	▲6.3	52	29	▲44.2	170	194	14.1	106	122	15.1	0	0	—	0	0	—	64	72	12.5	801	906	13.1	2,876	3,004	4.5
津野町	463	454	▲1.9	2,520	2,255	▲10.5	2,320	2,055	▲11.4	200	200	0.0	11	10	▲9.1	763	1,154	51.2	150	250	66.7	0	0	—	0	0	—	613	904	47.5	1,295	1,384	6.9	5,052	5,257	4.1
四万十町	1,596	1,546	▲3.1	6,265	6,309	0.7	5,815	5,909	1.6	450	400	▲11.1	581	636	9.5	2,910	1,735	▲40.4	363	563	55.1	0	0	—	0	0	—	2,547	1,172	▲54.0	3,827	3,183	▲16.8	15,179	13,409	▲11.7
大月町	358	345	▲3.6	2,150	2,213	2.9	2,020	2,083	3.1	130	130	0.0	68	20	▲70.6	810	238	▲70.6	120	166	55.0	0	0	—	0	0	—	690	52	▲92.5	865	599	▲30.8	4,251	3,415	▲19.7
三原村	105	103	▲1.9	1,033	1,015	▲1.7	947	926	▲2.2	86	89	3.5	107	42	▲60.7	201	165	▲17.9	53	86	62.3	0	0	—	0	0	—	148	79	▲46.6	364	363	▲0.3	1,810	1,688	▲6.7
黒潮町	805	767	▲4.7	3,658	3,680	0.6	3,300	3,400	3.0	358	280	▲21.8	364	425	16.8	1,066	1,376	29.1	237	368	55.3	0	0	—	0	0	—	829	1,008	21.6	1,795	1,929	7.5	7,688	8,177	6.4
都市計	75,307	72,554	▲3.7	76,230	78,550	3.0	68,667	71,056	3.5	7,563	7,494	▲0.9	6,871	5,977	▲13.0	22,472	24,450	8.8	5,707	8,762	53.5	44	0	皆減	809	1,563	93.2	15,912	14,125	▲11.2	81,016	79,760	▲1.6	261,896	261,291	▲0.2
町村計	12,554	12,227	▲2.6	47,106	47,451	0.7	43,443	43,934	1.1	3,663	3,517	▲4.0	6,107	4,644	▲24.0	12,870	12,118	▲5.8	3,192	4,590	43.8	0	0	—	0	0	—	9,678	7,528	▲22.2	23,205	23,425	0.9	101,842	99,865	▲1.9
県計	87,861	84,781	▲3.5	123,336	126,001	2.2	112,110	114,990	2.6	11,226	11,011	▲1.9	12,978	10,621	▲18.2	35,342	36,568	3.5	8,899	13,352	50.0	44	0	皆減	809	1,563</										

3. 歳入－① <主な歳入予算の状況・歳入構成比>

①地方税

- ・地方税は前年度比3.5%(30億8千万円)の減。(地財計画は10.6%の減。)
- ・景気悪化等により、市町村民税は4.4%の減。
- ・評価替え等により、固定資産税は3.1%の減。

②地方交付税

- ・地方交付税は前年度比2.2%(26億6千5百万円)の増。(地財計画は2.7%の増)

③県支出金

- ・緊急雇用創出臨時特例基金事業及びふるさと雇用再生特別基金事業により、県支出金は前年度比9.3%(20億2千4百万円)の増。

④地方債

- ・地方債全体では前年度比3.5%(12億2千6百万円)の増。(地財計画は23.2%の増)
- ・臨時財政対策債を除く地方債は、12.2%(32億2千7百万円)の減。
- ・退職手当債の発行は3団体から4団体に増加し、93.2%(7億5千4百万円)の増。

⑤繰入金

- ・基金の取り崩し等の繰入金は、全体で前年度比18.2%(23億5千7百万円)の減。

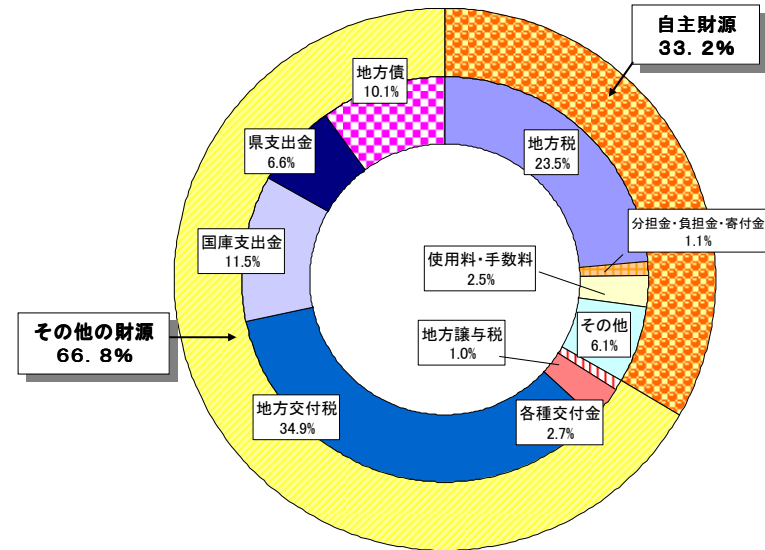
財政調整基金取崩額	29.3億円	(対前年度比▲26.4%、▲10.5億円)
減債基金取崩額	28.9億円	(対前年度比▲34.3%、▲15.1億円)
その他特定目的基金取崩額	48.0億円	(対前年度比+4.3%、+2.0億円)

※その他特定目的基金取崩額には、他会計からの繰入額0.7億円を含む。

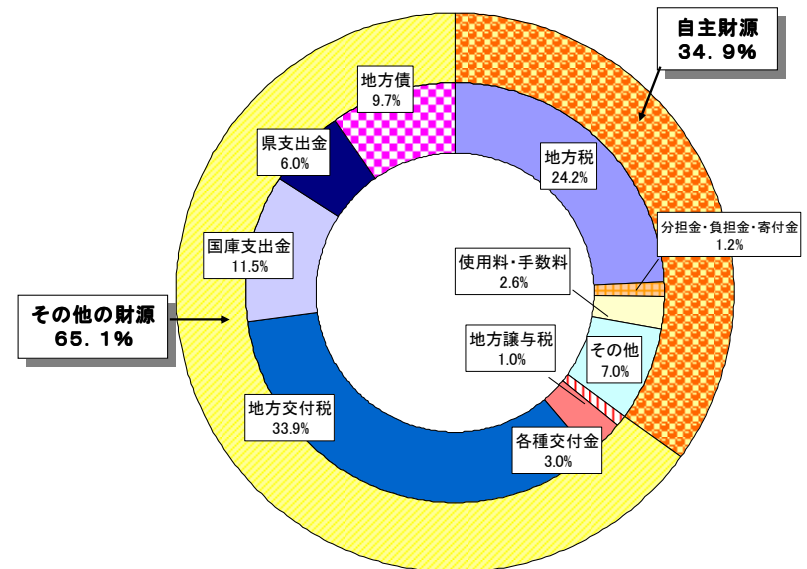
(単位:百万円、%)

	平成21年度当初予算額		平成20年度当初予算額		増減額 A-B=C	増減率 C/B*100
	A	構成比	B	構成比		
歳入						
一般財源	243,451	67.4	243,621	67.0	▲170	▲0.1
地方税	84,781	23.5	87,861	24.2	▲3,080	▲3.5
地方譲与税	3,546	1.0	3,742	1.0	▲196	▲5.2
地方交付税	126,001	34.9	123,336	33.9	2,665	2.2
臨時財政対策債	13,352	3.7	8,899	2.4	4,453	50.0
その他	15,771	4.4	19,783	5.4	▲4,012	▲20.3
うち財調基金繰入金、 減債基金繰入金	5,820	1.6	8,374	2.3	▲2,554	▲30.5
特定財源	117,705	32.6	120,117	33.0	▲2,412	▲2.0
国庫支出金	41,621	11.5	41,706	11.5	▲85	▲0.2
県支出金	23,782	6.6	21,758	6.0	2,024	9.3
地方債(臨財債除く)	23,216	6.4	26,443	7.3	▲3,227	▲12.2
その他	29,086	8.1	30,210	8.3	▲1,124	▲3.7
合計	361,156	100.0	363,738	100.0	▲2,582	▲0.7
自主財源	120,054	33.2	126,815	34.9	▲6,761	▲5.3
その他の財源	241,102	66.8	236,923	65.1	4,179	1.8

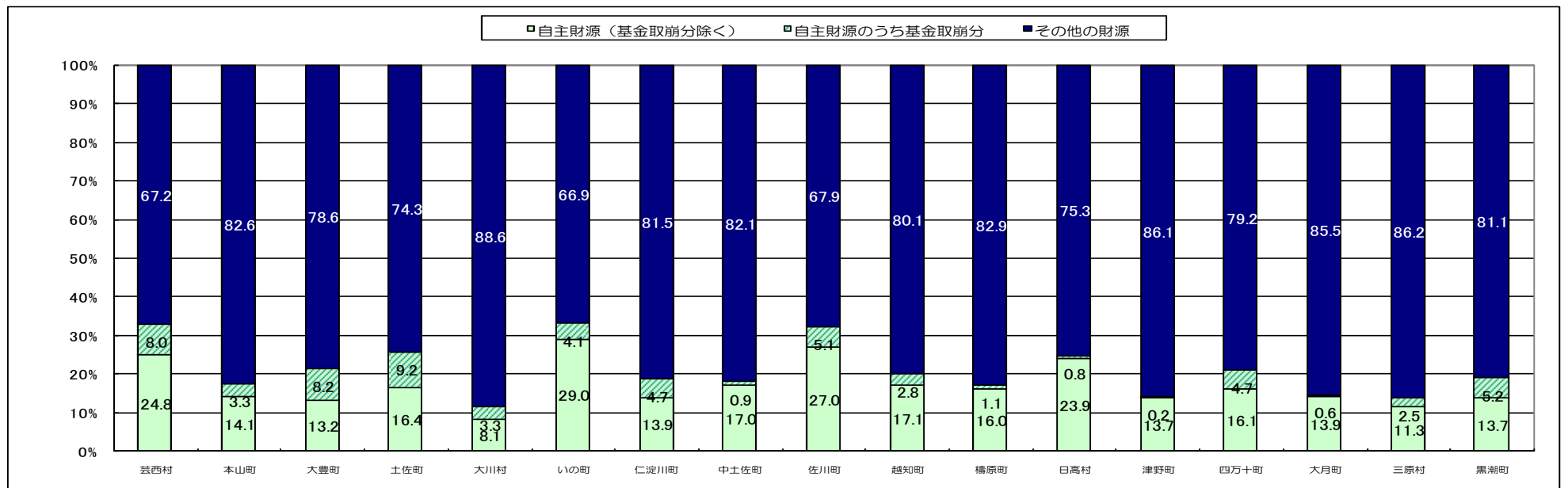
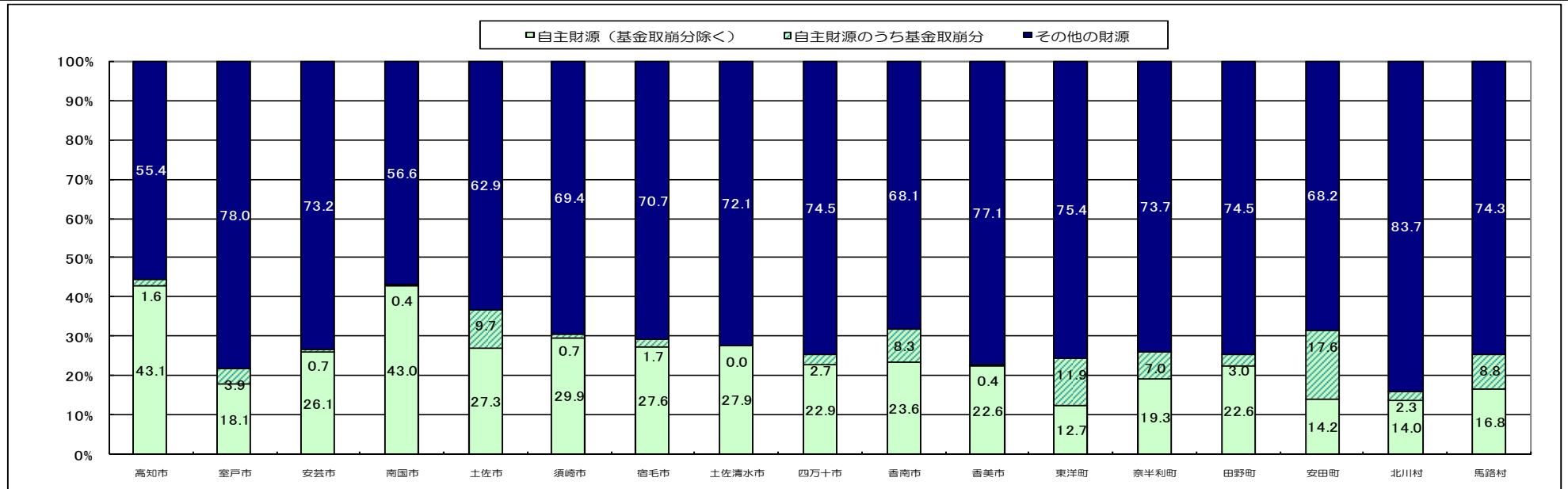
平成21年度普通会計当初予算歳入構成比



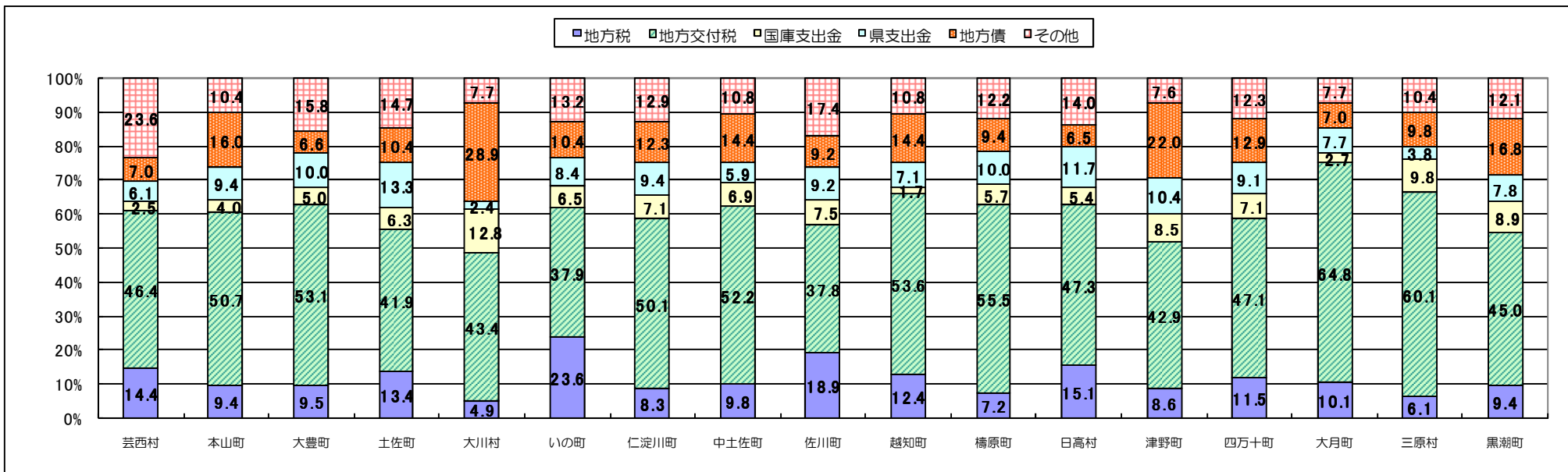
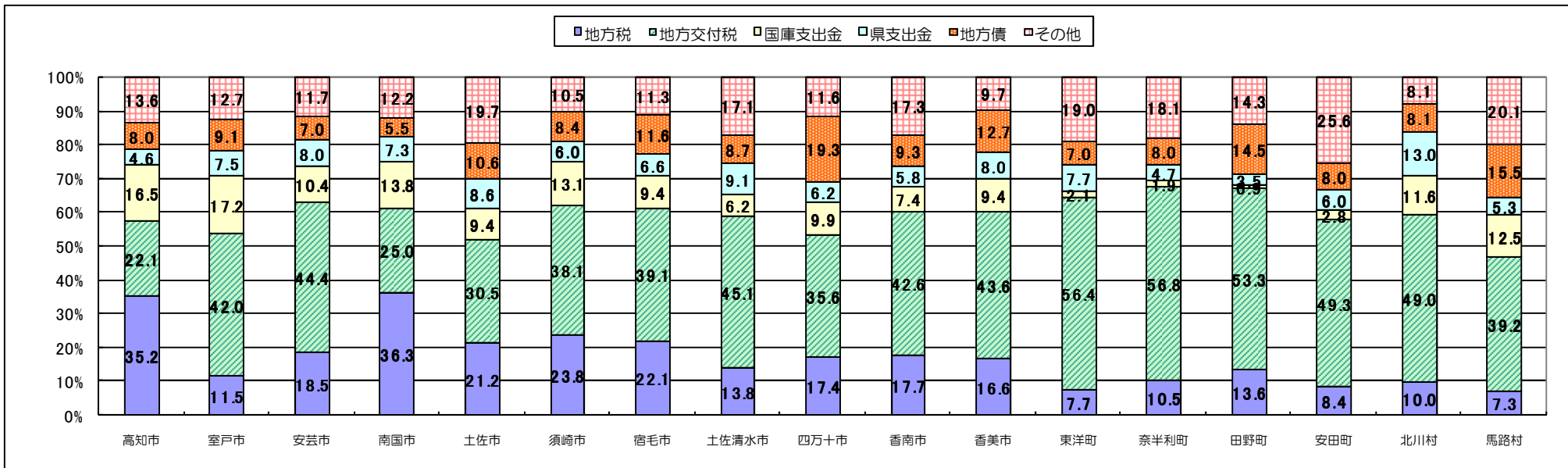
平成20年度普通会計当初予算歳入構成比



3. 歳入－② <市町村別歳入予算構成比／自主財源・その他の財源比率の状況>



3. 歳入－③ <市町村別歳入予算構成比>



3. 歳入－④ <地方交付税等の推移>

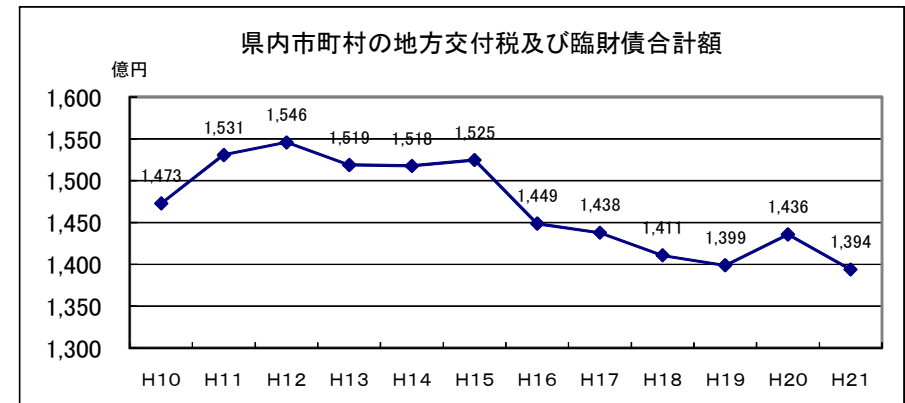
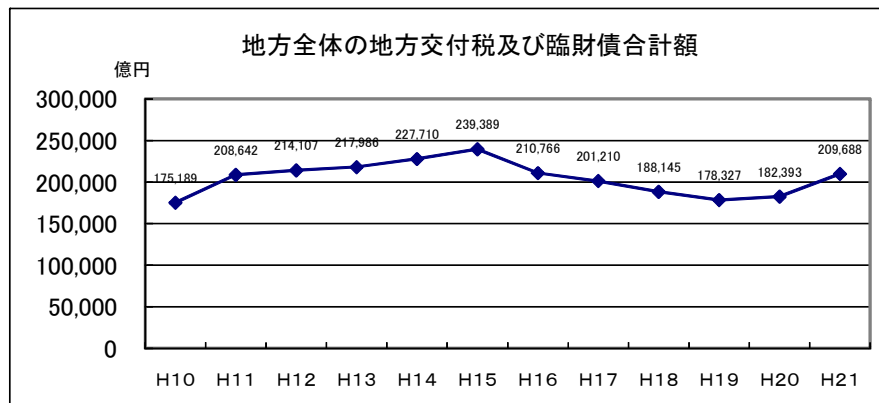
(単位: 億円、%)

	地方全体								県内市町村の状況							
	地方財政計画総額		地方交付税総額		臨時財政対策債		交付税＋臨時債合計		当初予算の規模		地方交付税総額 (決定額)		臨時財政対策債 (発行可能額)		交付税＋臨時債合計	
		伸び率		伸び率		伸び率		伸び率		伸び率		伸び率		伸び率		伸び率
H10	870,964	0.0	175,189	2.3			175,189	2.3	4,033	0.5	1,473	5.9			1,473	5.9
H11	885,316	1.6	208,642	19.1			208,642	19.1	4,245	5.3	1,531	3.9			1,531	3.9
H12	889,300	0.5	214,107	2.6			214,107	2.6	4,116	▲ 3.0	1,546	1.0			1,546	1.0
H13	893,071	0.4	203,498	▲ 5.0	14,488	皆増	217,986	1.8	4,033	▲ 2.0	1,462	▲ 5.4	57	皆増	1,519	▲ 1.7
H14	875,666	▲ 1.9	195,449	▲ 4.0	32,261	122.7	227,710	4.5	3,862	▲ 4.2	1,395	▲ 4.6	123	115.8	1,518	▲ 0.1
H15	862,107	▲ 1.5	180,693	▲ 7.5	58,696	81.9	239,389	5.1	3,808	▲ 1.4	1,314	▲ 5.8	211	71.5	1,525	0.5
H16	846,700	▲ 1.8	168,861	▲ 6.5	41,905	▲ 28.6	210,766	▲ 12.0	3,745	▲ 1.7	1,298	▲ 1.2	151	▲ 28.4	1,449	▲ 5.0
H17	837,687	▲ 1.1	168,979	0.1	32,231	▲ 23.1	201,210	▲ 4.5	3,676	▲ 1.8	1,322	1.8	116	▲ 23.2	1,438	▲ 0.8
H18	831,508	▲ 0.7	159,073	▲ 5.9	29,072	▲ 9.8	188,145	▲ 6.5	3,608	▲ 1.8	1,308	▲ 1.1	103	▲ 11.2	1,411	▲ 1.9
H19	831,261	0.0	152,027	▲ 4.4	26,300	▲ 9.5	178,327	▲ 5.2	3,597	▲ 0.3	1,305	▲ 0.2	94	▲ 8.7	1,399	▲ 0.9
H20	834,014	0.3	154,061	1.3	28,332	7.7	182,393	2.3	3,637	1.1	1,348	3.3	88	▲ 6.4	1,436	2.6
H21	825,557	▲ 1.0	158,202	2.7	51,486	81.7	209,688	15.0	3,612	▲ 0.7	1,260	▲ 6.5	134	52.3	1,394	▲ 2.9

注)1 地方交付税総額は当初ベース

注)2 当初予算額: 合併団体は肉付け後予算額を計上

注)3 県内市町村の交付税総額: H20年度までは当初決定ベース、H21年度は当初予算ベース



※歳入に占める交付税の割合が多い県内市町村では、当初予算ベースでは実績値より低めに交付税を見込む傾向が見られる。このため、H20決算とH21予算を比較すると減少しているが、H20予算とH21予算を比較すると5.4%増加している。

歳出予算

4. 歳出① <主な歳出予算の状況・歳出構成比>

①人件費

・退職手当の増により、前年度比0.7%(4億5千7百万円)の増。

② 扶助費

・前年度比3.7%(22億3千3百万円)の増。

③公債費

・H19年度、20年度に実施した普通会計における補償金免除繰上償還(115億6千万円)の効果等により、前年度比2.6%(18億5千万円)の減。

④普通建設事業費

・普通建設事業は439億4千5百万円で、前年度比7.9%(37億4千8百万円)の減。
・国の交付金事業を含んだ平成20年度の3月補正額を加えると、501億6千7百万円で、前年度当初予算額を上回る。

⑤物件費

・緊急雇用創出臨時特例基金事業、ふるさと雇用再生特別基金事業及び衆議院選挙等の増により、前年度比5.9%(20億5千万円)の増。

⑥補助費等

・後期高齢者医療広域連合負担金等の増により、前年度比6.3%(21億9千1百万円)の増。

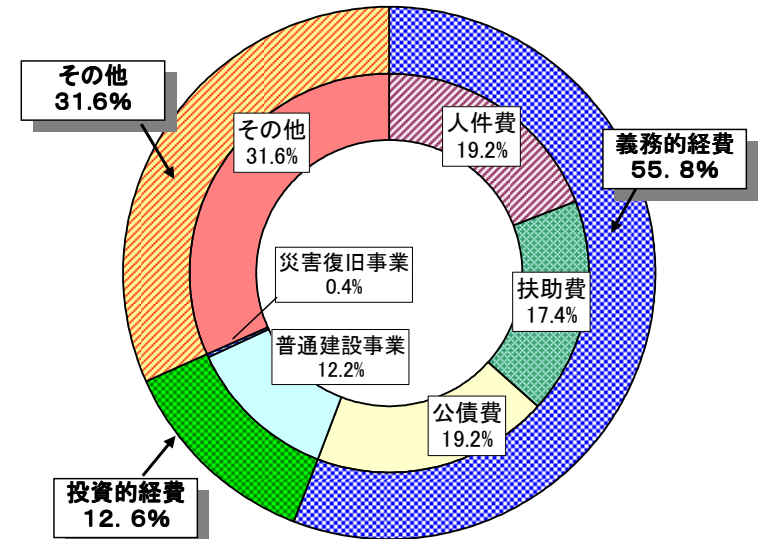
⑦繰出金

・老人保健医療事業への繰出金等の減により、前年度比7.2%(22億7千万円)の減。

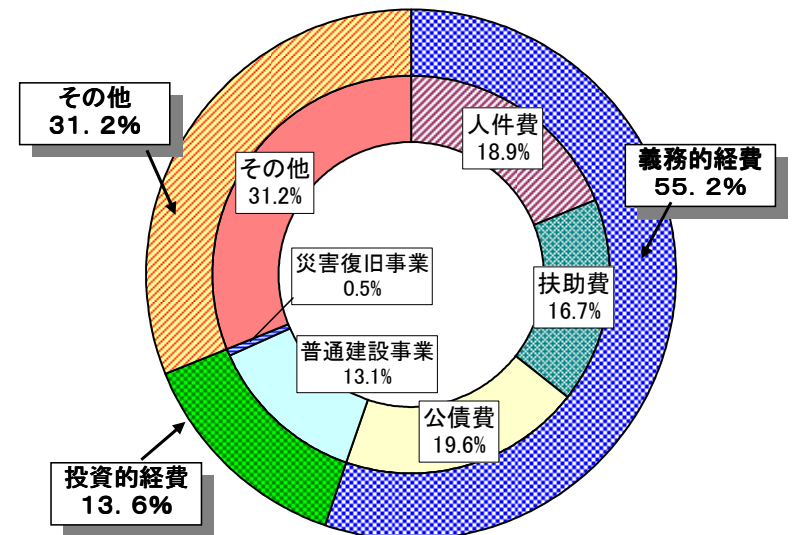
(単位:百万円:%)

	平成21年度当初予算額		平成20年度当初予算額		増減額 A-B=C	増減率 C/B*100	
	A	構成比	B	構成比			
歳出	義務的経費	201,625	55.8	200,785	55.2	840	0.4
	人件費	69,210	19.2	68,753	18.9	457	0.7
	扶助費	63,008	17.4	60,775	16.7	2,233	3.7
	公債費	69,407	19.2	71,257	19.6	▲1,850	▲2.6
	投資的経費	45,485	12.6	49,632	13.6	▲4,147	▲8.4
	普通建設事業	43,945	12.2	47,693	13.1	▲3,748	▲7.9
	うち補助	17,742	4.9	19,527	5.4	▲1,785	▲9.1
	うち単独	26,005	7.2	27,931	7.7	▲1,926	▲6.9
	災害復旧事業	1,540	0.4	1,939	0.5	▲399	▲20.6
	その他の経費	114,046	31.6	113,321	31.2	725	0.6
うち物件費	37,009	10.2	34,959	9.6	2,050	5.9	
うち補助費等	37,105	10.3	34,914	9.6	2,191	6.3	
うち繰出金	29,313	8.1	31,583	8.7	▲2,270	▲7.2	
合計	361,156	100.0	363,738	100.0	▲2,582	▲0.7	

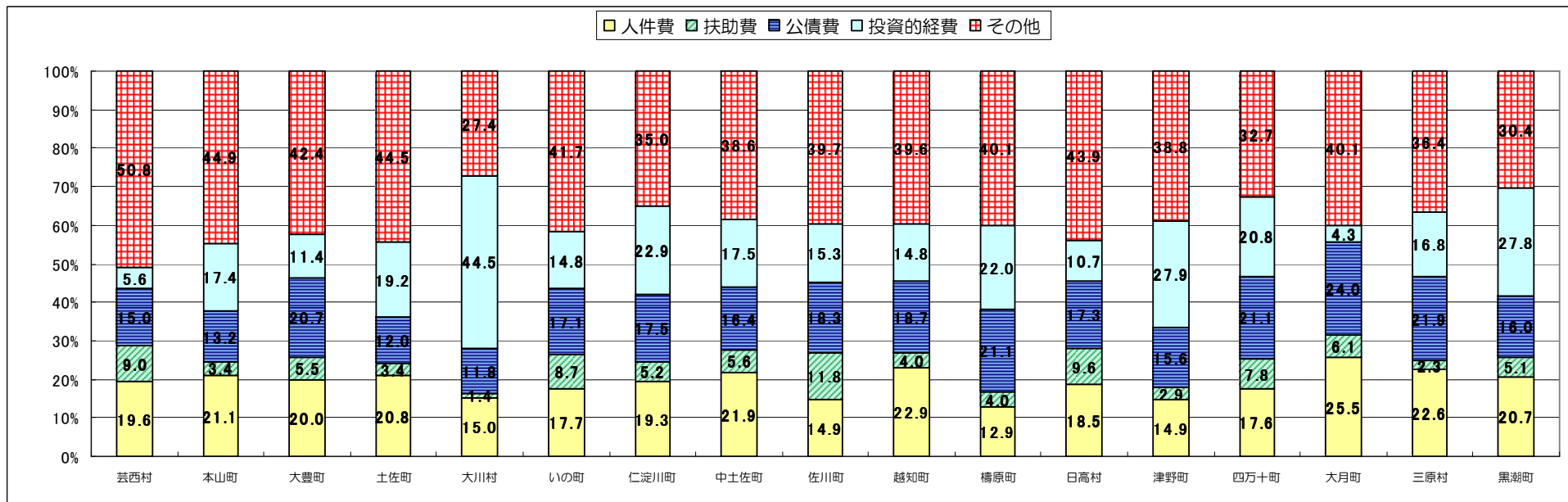
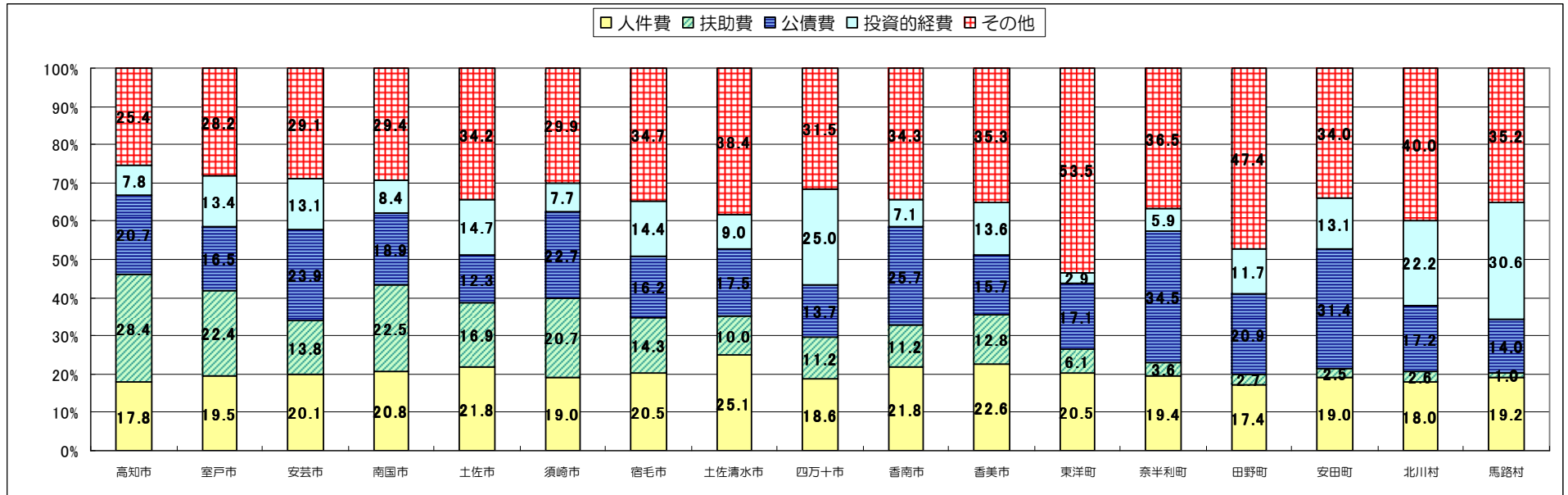
平成21年度普通会計当初予算
性質別歳出構成比



平成20年度普通会計当初予算
性質別歳出構成比

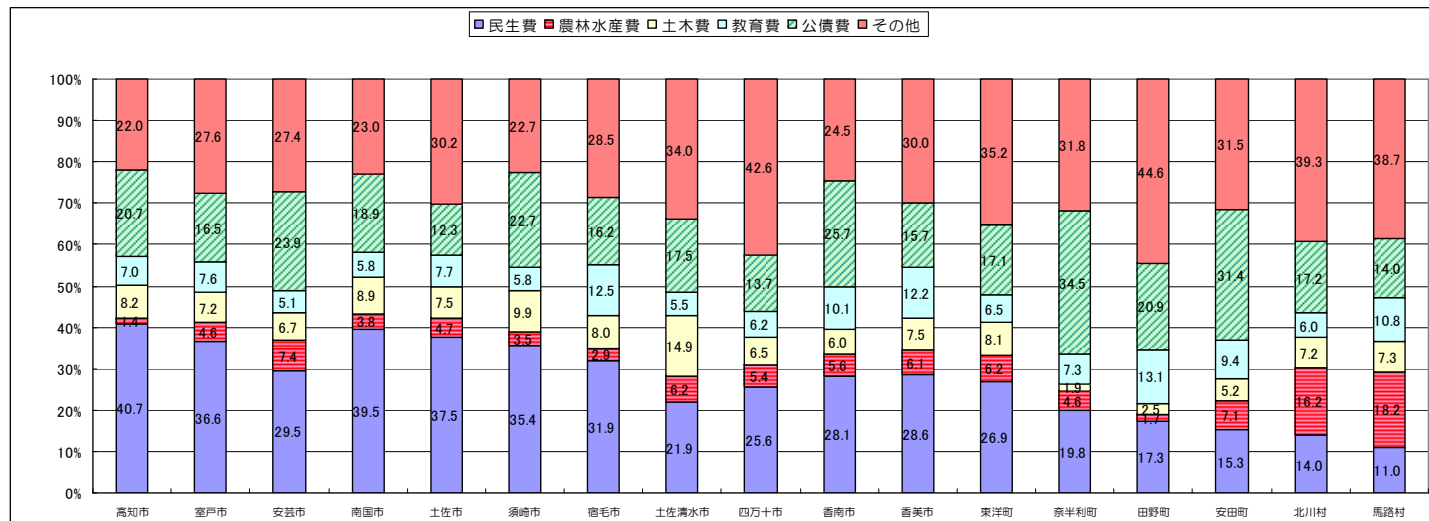
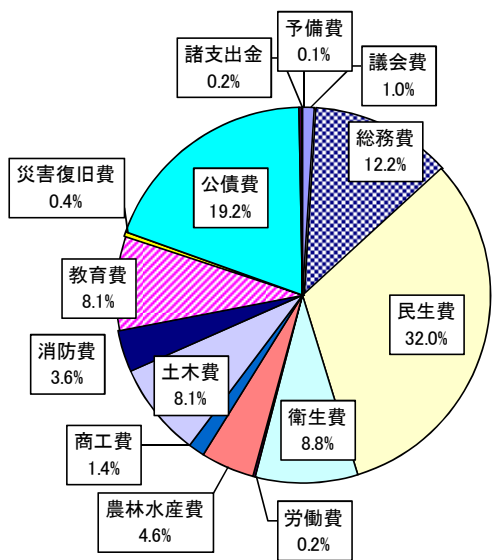


4. 歳出② <市町村別性質別歳出構成比>

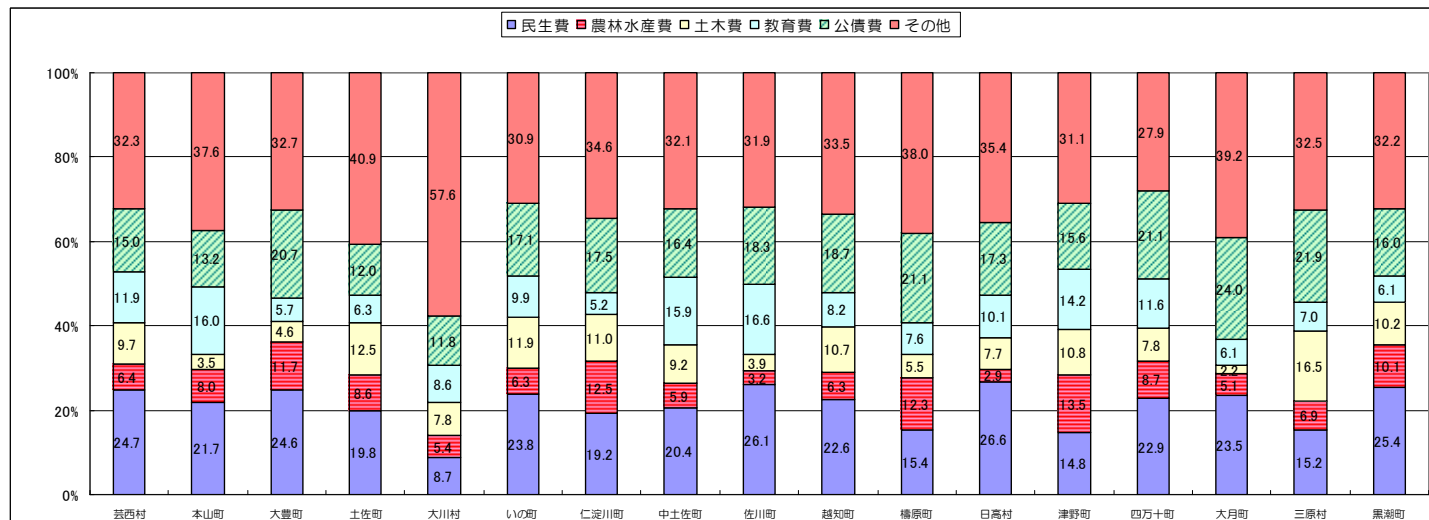
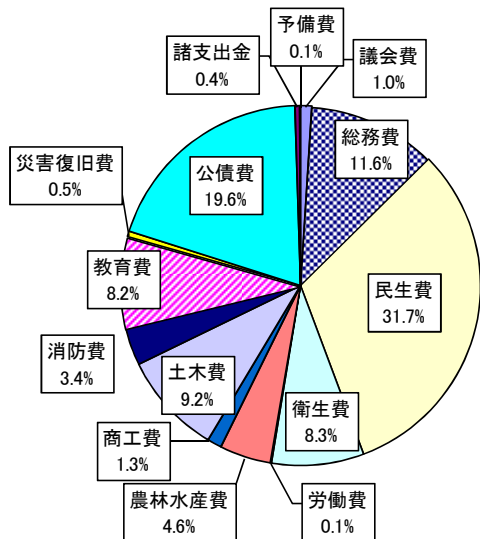


4. 歳出③ <目的別歳出予算構成比>

平成21年度普通会計当初予算目的別歳出構成比

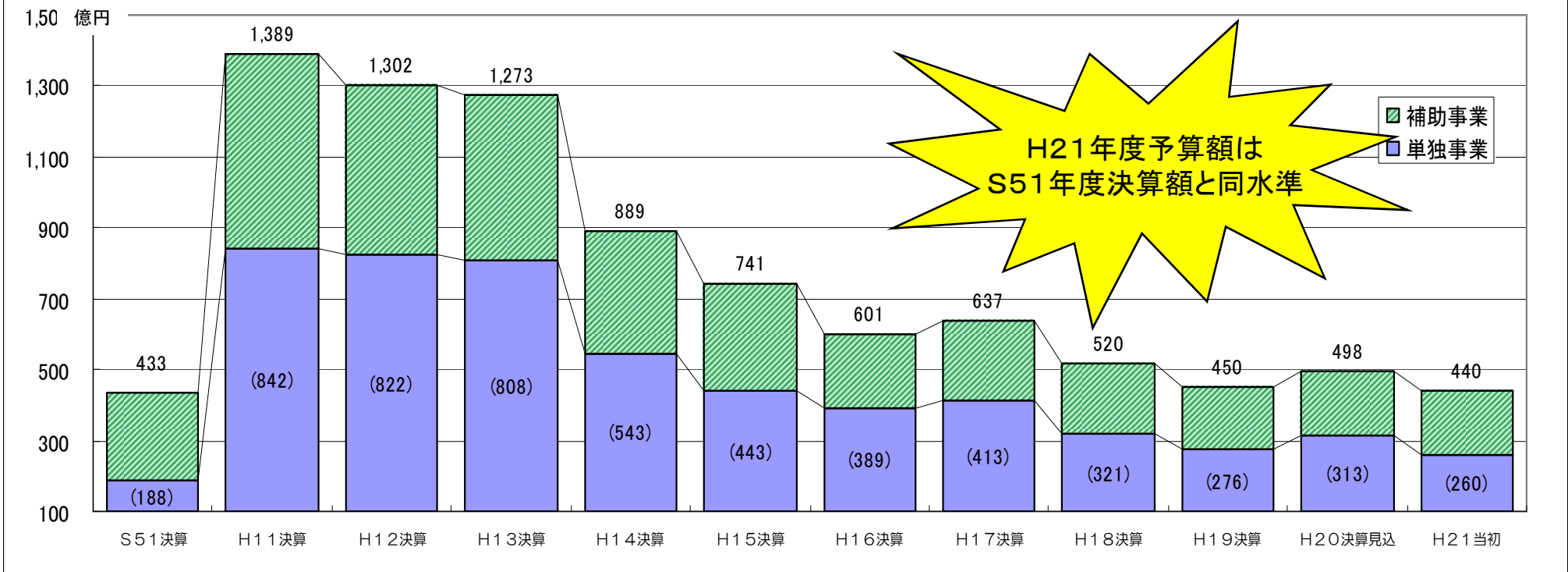


平成20年度普通会計当初予算目的別歳出構成比



4. 歳出－④ <普通建設事業費の推移>

県内市町村普通建設事業の推移

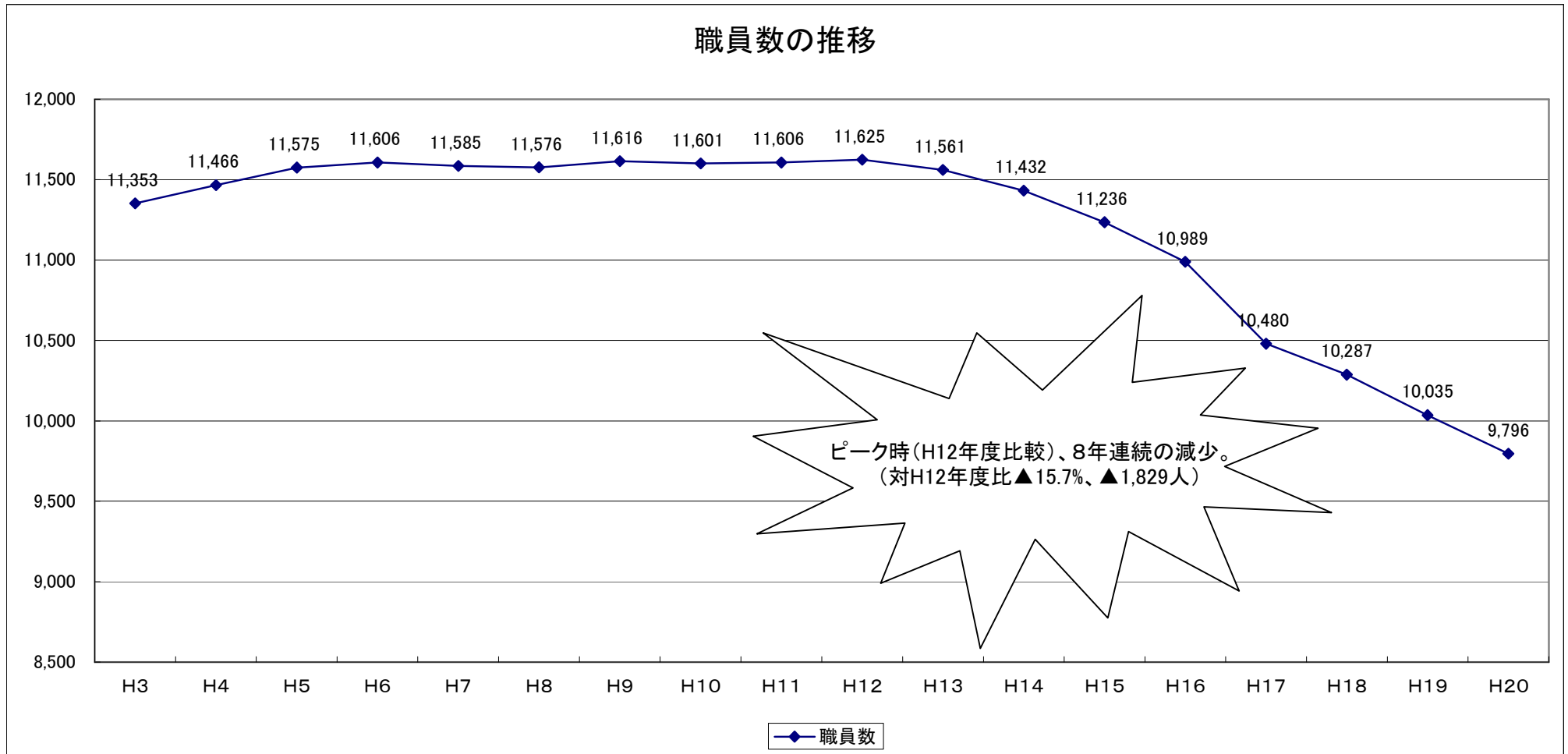


しかしながら、H21年度当初予算に国の交付金事業を含んだH20年度3月補正額を加えると502億円となる。

4. 歳出－⑤ <職員数と人件費の推移>

	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
職員数	11,353	11,466	11,575	11,606	11,585	11,576	11,616	11,601	11,606	11,625	11,561	11,432	11,236	10,989	10,480	10,287	10,035	9,796	-
人件費伸率	7.4	7.5	6.0	4.1	2.2	0.8	2.2	2.3	1.4	▲ 2.3	0.7	▲ 2.4	▲ 4.0	▲ 5.2	▲ 5.0	▲ 1.7	1.0	▲ 3.7	0.7

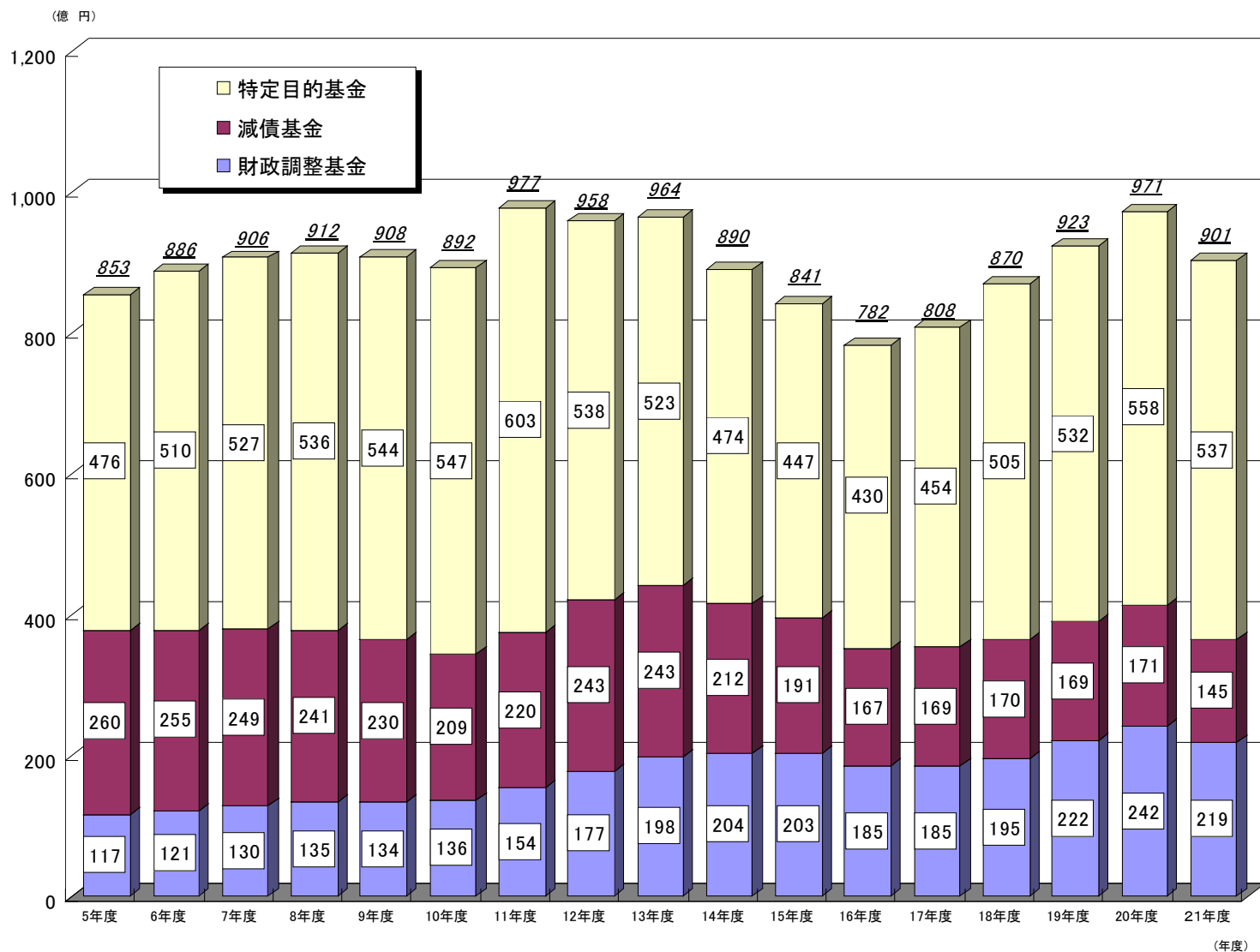
※職員数は各年度4月1日現在(給与実態調査より)。伸び率は対前年度当初予算比。



基金の状況

5. 基金の状況－① <基金残高の推移>

基金現在高の推移



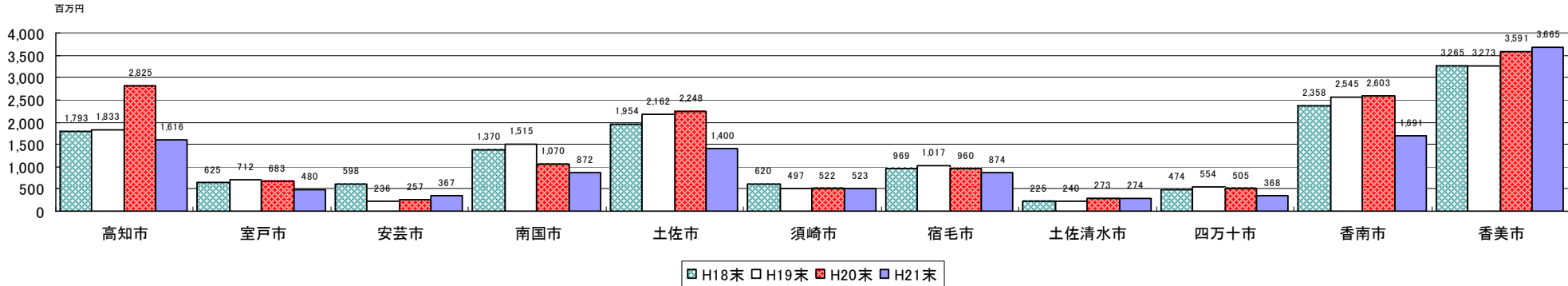
〈特徴〉

- ・H17年度から20年度まで4年連続で財政調整的な基金（財政調整基金＋減債基金）残高が増加している。
- ・特定目的基金についても、合併特別債による基金積立等によりH17年度から20年度まで4年連続で基金残高が増加している。
- ・H20年度に地域活性化・生活対策臨時交付金で積立てた基金（15.5億円）をH21年度に取り崩すなどにより、H21年度末の特定目的基金残高はH20年度決算見込額から21億円減少する見込みである。

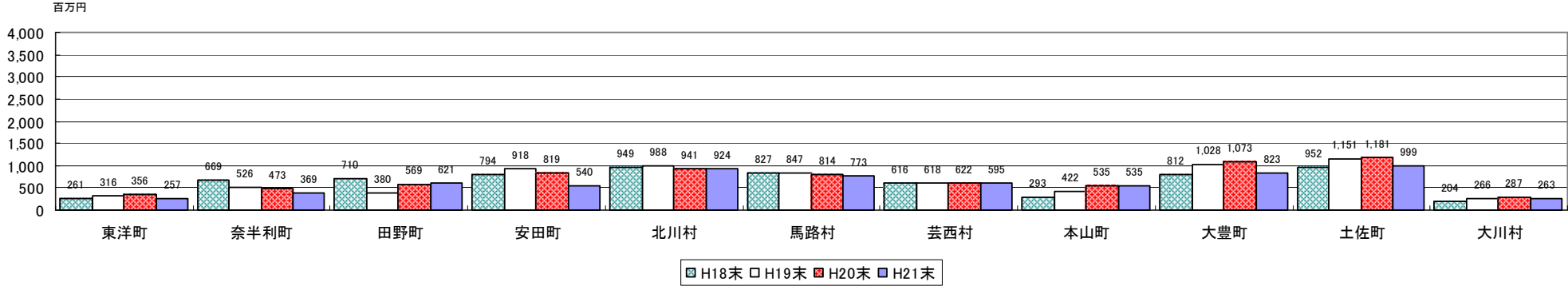
注1 H5年度～19年度は、年度末の残高
 注2 H20年度末は、決算見込額
 注3 H21年度末残高の見込みには、21年度の補正見込額、歳計剰余金処分見込額の積立相当額を含む。

5. 基金の状況－② <財政調整的な基金(財政調整基金及び減債基金)の残高推移>

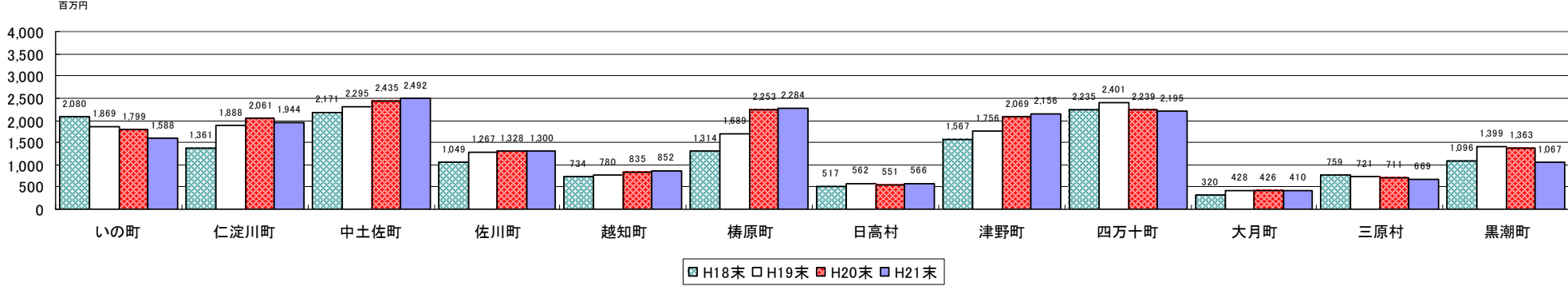
財政調整的な基金の年度末残高の推移



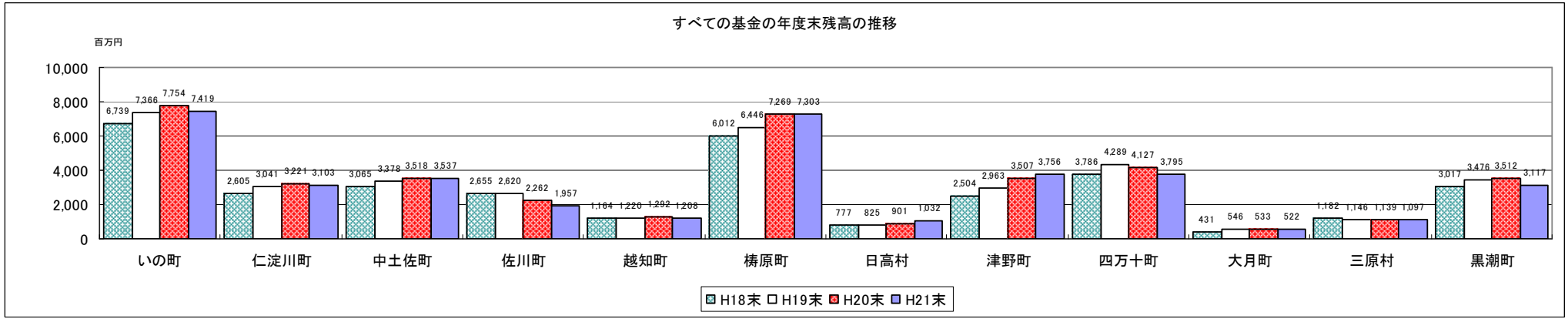
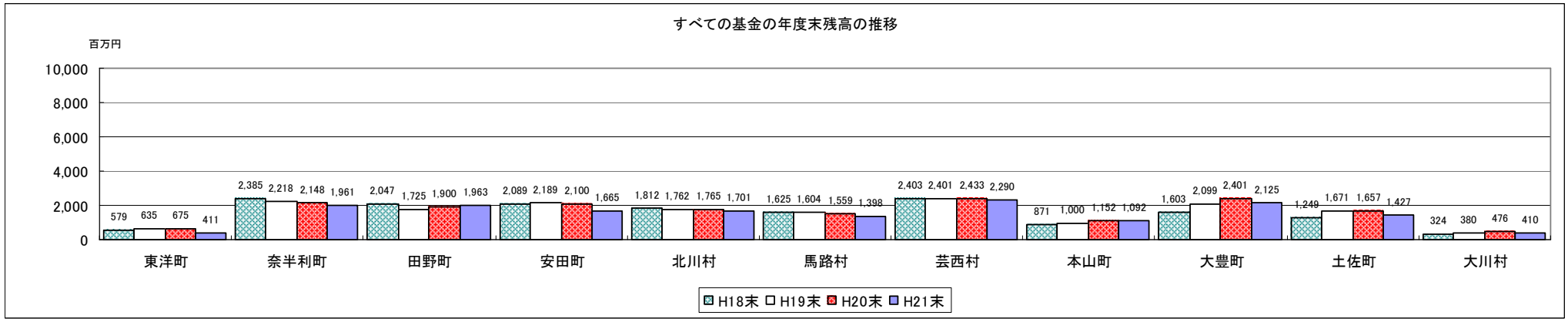
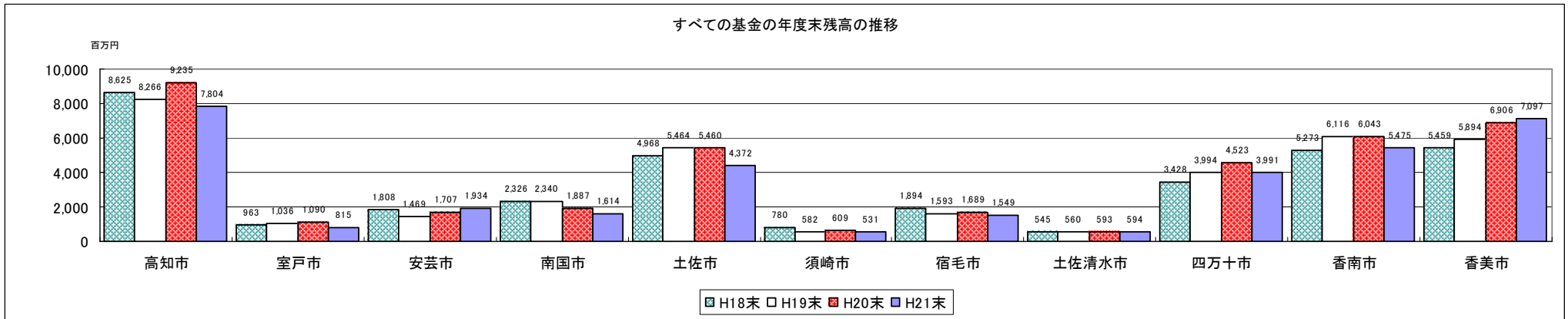
財政調整的な基金の年度末残高の推移



財政調整的な基金の年度末残高の推移



5. 基金の状況－③ <すべての基金(財政調整基金＋減債基金＋特目基金)の残高推移>



6. 今後に向けて

(1) 今後の市町村財政の見通し

○本年度の地方財政計画では、「生活防衛のための緊急対策」を踏まえ、雇用創出等のため地方交付税を1兆円増額した上で、地方税や地方交付税の原資となる国税5税の大幅な減収に対して、国と地方が折半して補てん措置を講じた結果、地方交付税の総額は15兆8,202億円(前年度比+4,141億円、+2.7%)、臨時財政対策債を含めた実質的な地方交付税の総額は20兆9,688億円(前年度比+2兆7,295億円、+15.0%)と増額確保された。

しかしながら、社会保障関係経費の自然増が見込まれることに加えて、交付税特別会計借入金残高を含む地方財政のH21年度末借入金残高は197兆円と見込まれ、今後、その償還負担が高水準で続き、将来の地方財政が圧迫されることが強く懸念されていることから、自主財源に乏しい県内市町村では引き続き慎重な財政運営が求められる。

○公債費については、H19年度、20年度に実施した普通会計における補償金免除繰り上げ償還(115億6千万円)の効果もあり、前年度比2.6%(18億5千万円)減少している。また、今後、上昇の見込まれる団体は、新規発行債の抑制により縮減を図っている。

○義務的経費は55.8%(対前年度比+0.6ポイント)と予算の半分以上を占めており、財政の硬直化が進んでいる。今後も引き続き扶助費の増加が見込まれることから、更なる硬直化が懸念される。

○普通建設事業は前年度より7.9%の減となり、S51年度決算額と同水準であるが、本年度は、国のH21年度の補正予算の「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」、「地域活性化・公共投資臨時交付金」などが地方公共団体への配慮として新たに創設され、各市町村が地域活性化に向けて積極的に取り組む環境も整ってきた。

○財源不足に対応するための財政調整的な基金の残高は、H21年度末には364億円となる見込みで、ピーク時の(H13年度末、441億円)の83%となっているが、H19年度末、H20年度末(見込み)と増加しており、ピーク時程度に回復しつつある。しかしながら、財政調整的な基金残高が底をつきかけている団体も見受けられる。

6. 今後に向けて

(2) 今後の対応

- 自主財源が乏しい本県では、歳入のうち地方交付税の占める割合が特に高く、交付税制度改革の影響を大きく受けやすい。今後も地方交付税の総額確保はもとより、交付税本来の目的である財源保障機能、財源調整機能の充実・強化を強く求めていく必要がある。また、2年連続で地方交付税が増額されるなど、国が「地方重視」の政策を進めている。この機を逃さず、引き続き県と市町村が連携し、国に意見・提案をしていく必要がある。
- 百年に一度といわれる経済危機の中、本県においては、景気浮揚のために積極的な公共投資はかせないため、国のH21年度補正予算の「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」、「地域活性化・公共投資臨時交付金」等を有効に活用して行く必要がある。また、本年度は「高知県産業振興計画」の「実行元年」となっており、県と市町村が連携し、県勢浮揚に向けた取り組みを進めていく必要がある。
- 「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が平成21年4月に全面施行されたことにより、平成20年度決算から健全化判断比率に基づき、早期健全化団体や再生団体が指定されることとなった。今後は、普通会計のみならず公営企業会計等他の会計を含め、団体としてどのように経営を行っていくのかといった視点がより重要となる。
- 今後、市町村においては、景気浮揚のための思い切った投資と併せて、ブレーキを的確に利かせ、将来にわたる安定的な財政運営の確保に努める必要がある。そのためには、中期的な収支見通しを作成することにより、「将来にわたる歳入を的確に把握」し、「その限られた歳入の中で財政の健全性と事業展開の効率性を確保するための方策を適切に講じること」が重要となる。